

学校だより

翔 空

No. 6 平成23年 5月27日(金)
郡山市立喜久田中学校長 川島 宏

「翔空」の由来

校舎のシンボル

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

衣替え・校舎窓の開閉・熱中症事故の予防について



市教委から、5月25日に以下のような文書が届きましたのでお知らせします

1 衣替えについて

- (1) 制服等の衣替えを実態に応じて実施する。
- (2) 放射線対策として帽子、マスクの着用を勧める。長袖等の着用については保護者の意向により、無理のない範囲で認める。
- (3) 学校生活では、屋外活動を想定した長袖・長ズボンの着用も認める。ただし、酷暑時には半袖・半ズボンの運動着着用など柔軟に対応できるようにする。
- (4) 登校時や屋外活動後は昇降口に入る前に衣服の塵埃を払い落とすようにする。
- (5) 今回の措置が、服装の乱れにつながらないように留意する。

2 校舎窓の開閉について

- (1) モニタリングモデル校の調査結果により、窓を開放しても校舎内の放射線量が低いことから、天候、気温、砂塵等の状況を総合的に判断し換気する。
- (2) 窓の開放前後の教室の放射線量を測定する。
- (3) 開放については児童生徒及び保護者に十分に説明し、理解を求める。

3 熱中症事故の予防について

これからは高温多湿の運動環境が予想されます。体が暑さに慣れていない時期に多発する傾向が見られます。については、今年度の重点として下記の3点を中心に、生徒の健康状態を十分に把握し、事故の未然防止に万全を期すよう指導願います。

- (1) 屋外活動を想定した長袖・長ズボンの着用を認めるが、酷暑の場合は半袖・半ズボンの運動着着用など柔軟に対応できるようにすること。
- (2) 屋内外を問わず、必要な水分補給ができるよう児童生徒に飲料水(スポーツドリンク等)を水筒等で持参するよう勧めること。
- (3) 汗を拭いたり、首などを冷水タオルで冷やしたりして、適切な体温調整ができるようにすること。

【学校では】



5月27日(金)
陸上競技の選手
壮行会で、生徒
達に指導しまし
た。

- 衣替えについては、すでに文書でお知らせしたとおりです。No.5の学校だよりにも書きましたが、新たに準備するなら長袖のワイシャツ・ブラウスが無難でしょう。
- 窓の開閉については、モニタリング校の測定結果、閉戸時・開戸2時間後及び4時間後の数値は、1～3階共に目立った変化はなかったとのこと。TV等のニュースでも同様の報道がされてきました。このことから、熱中症や感染症を防ぎ、不快感をなくす上からも、強風時や埃等の多い日を除き、暑い日は様子を見て窓の開閉をしていきます。郡山市から、各普通教室に扇風機2台・よしずを1枚配布する旨の文書も届いております。
- 熱中症予防については、昨年同様スポーツドリンクやお茶(学校医さんからは、麦茶にひとつまみの塩を加えたもの)を水筒に入れて持参させて下さい。すでに持って来ている生徒もおります。

※熱中症：暑熱環境によって発生する障害の総称。主に熱射病(日射病)、熱疲労、熱痙攣に分類される。一般的に高温多湿の環境下で激しい運動をするなどして体温が異常に上昇したときに起こる。「頭痛」や「めまい」、「気持ちが悪い」などを感じる他、手足の硬直、失神や痙攣を起したり、意識障害を伴って死亡する例もある。10代ではスポーツ中の事故が圧倒的に多く、時期的には暑さに慣れていない6月下旬から7月、7月下旬から8月上旬の梅雨明け直後、体育祭やスポーツ大会が多い10月なども多い。

※熱中症の起こりやすい環境や活動条件

- (1) 前日までに比べ急に気温が上がった場合
- (2) 梅雨明けをしたばかりの時
- (3) 湿度が高い場合
- (4) 活動場所がアスファルトなどの人工面で覆われているところや草が生えていない裸地、砂の上など
- (5) 涼しいところから暑いところへ移動したとき
- (6) 休み明けや練習の初日
- (7) 練習が連日続いた時の最終日前後